

◎ 女性が居住地に求めるものは？～地域とのつながり～

統計調査によると、地域とのつながりが女性の居住意識に影響する傾向があります。都市部または地方に住むことを理想とする理由について男女別に見ると、都市部・地方のいずれにおいても、女性は男性と比較して、「近くに親族や知人が多い」を挙げる人が多い結果が得られています。

地域とのつながりを生かしつつ、女性の就業意欲の高まりに対応できる就業の場の拡大が地方で進めば、地方は女性にとってより魅力ある場所となると考えられます。

▼都市部で暮らすことを理想と考える理由

	男性	女性
1位	交通機関や商業・娯楽施設の充実	交通機関や商業・娯楽施設の充実
2位	仕事の機会の充実	豊かな文化や流行に触れられる
3位	豊かな文化や流行に触れられる	近くに親族や知人が多い (回答率10.1%)
}		
7位	近くに親族や知人が多い (回答率5.6%)	自然環境がよい

▼地方で暮らすことを理想と考える理由

	男性	女性
1位	自然環境がよい	自然環境がよい
2位	自分または配偶者の郷里である	近くに親族や知人が多い (回答率20.4%)
3位	近くに親族や知人が多い (回答率11.4%)	自分または配偶者の郷里である

※内閣府『平成27年度版男女共同参画白書概要』から抜粋。

◎ 女性が職に就くと、出生率が上がる？～男女共同参画社会～

女性の有業率や正規雇用率が低い都道府県ほど、男性が法定労働時間（基本的に週40時間）を超える勤務を行う傾向が見られます。また、その地域の合計特殊出生率が低くなる傾向も見られます。

女性の社会参画が進めば、男性の長時間労働が是正されることが考えられます。男性の長時間労働が是正されれば、男性が家事や育児へ参画する機会が増えます。また、男性が地域活動に携わる機会の増加や、合計特殊出生率の向上も期待でき、地域活性化につながる可能性も考えられます。

このような地域を築いていくためには、女性が社会への参画意欲を高めるとともに、企業が積極的に女性を登用することが求められます。そして、男性自身も長時間労働の是正に取り組み、家事や育児、地域活動に参画する意欲を高めることにより、家族や地域がつながる『男女共同参画社会』を目指しましょう。

▼女性の有業率が高い都道府県

都道府県名	①有業率 (女性)	②正規雇用率 (女性)	③超過勤務率 (男性)	④合計特殊出生率
福井県	1位	2位	34位	8位
石川県	2位	6位	13位	20位
山形県	3位	3位	39位	23位
富山県	4位	1位	40位	31位
島根県	5位	7位	47位	3位

▼女性の有業率が低い都道府県

都道府県名	①有業率 (女性)	②正規雇用率 (女性)	③超過勤務率 (男性)	④合計特殊出生率
奈良県	47位	37位	4位	43位
兵庫県	46位	33位	12位	34位
大阪府	45位	39位	7位	42位
北海道	44位	46位	2位	45位
沖縄県	43位	44位	43位	1位

①女性の生産年齢人口（15～64歳人口）に占める有業者の割合

②女性の15～64歳有業者に占める正規雇用者の割合

③男性の週間就業時間60時間以上である雇用者の割合

④一人の女性が15～49歳の間に生む子どもの平均数

※内閣府ホームページ『男女共同参画白書平成27年度版』での公表値から各順位を独自算定。

問い合わせ 市民サービスグループ (☎ 85) 2139